Printed in China WQ54960

保証書別添付

J

ポータブルプレーヤードック

PDX-50 取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、保証書と共に使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について
この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

⚠ 警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重症を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

必ず実行
電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

プラグを抜く
下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- 異常なにおいや音がする。
- 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止
電源コードを傷つけない。
- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行
電源電圧（100 V）で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行
本機を完全に主電源から切り離すためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

分解禁止

分解禁止
分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理および調整は販売店にご依頼ください。

手入れ

必ず実行
電源プラグのゴミやほこりは、定期的に取り除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグや金属部がショートして火災や感電の原因になります。

設置

水ぬれ禁止
本機を下記の場所には設置しない。
- 浴室・台所・海岸・水辺
- 雨や雪、水がかかるところ
- 加湿器を過度にきかせた部屋

水の混入により、火災や感電の原因になります。

禁止
放熱のため、本機を設置する際には:
- 布やテーブルクロスをかけない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

禁止
あおむけや横倒しには設置しない。
故障やけがの原因となります。

必ず実行
心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から22 cm以上離して使用ください。
ペースメーカーに影響を与え重大事故につながる場合があります。

使用上の注意

接触禁止
雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。

必ず実行
本機を落としたり、本機が破損したりした場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止
本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
●水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。
●接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。

ブラウン管を使用したディスプレイの近くでご使用になり万一色ムラや雑音などが生じるときは、本機とディスプレイの距離を離してご使用ください。

⚠ 注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

プラグを抜く
長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。

ぬれ手禁止
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

禁止
電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

必ず実行
電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

禁止
電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

必ず実行
付属のACアダプターを使用する。
それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。

禁止
ACアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしない。
熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。

設置

禁止
不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止
直射日光の当たる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばや車内など）には設置しない。
外装の変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災の原因になります。

移動

プラグを抜く
移動するときは、本機の電源コードを外す。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意

禁止
音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

注意
環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときは、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

必ず実行
外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

手入れ

必ず実行
手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

禁止
薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

車内・屋外での使用上の注意

- 運転中は操作しないでください。
- 炎天下の車内や直射日光の下、またはほこりっぽいところに設置したり放置したりしないでください。

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めてご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

はじめに

PDX-50は、iPhoneまたはiPodシリーズ専用のポータブルプレーヤードックです。iPodなどをトランスミッターに接続して無線操作ができます。充電器を使って、充電や長時間の再生が可能です。
また、付属品および各部の名称に記載されている記号（ⓐやⓑなど）は、クイックマニュアルに記載されているイラストの記号を表しています。詳しくはクイックマニュアルをご参照ください。

■ 付属品

ACアダプター（本体用：DC 15 V、2.66 A）[ⓐ] .... NU40-2150266-I3 ×1
電源コード[ⓑ] .... ×1
トランスミッター[ⓒ] .... PDX-50TX ×1
充電器[ⓓ] .... PDX-50BC ×1
ACアダプター（充電器用：DC 5 V、1 A）[ⓔ] .... MU12-2050100-A1 ×1
ステッカー .... ×1
取扱説明書（本紙） .... ×1
クイックマニュアル .... ×1

■ 商標

iPod™、iPhone™
iPodは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。
iPhoneは、Apple Inc.の商標です。

「Made for iPod」とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。
「Works with iPhone」とは、iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。
アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。

各部の名称とはたらき

🔈 / 🔊（ボリューム）キー[ⓕ]

音量を調節します。

ステータスインジケーター（LED）[ⓖ]

本機（スピーカー/トランスミッター）の状態を表示します。

LED表示（スピーカー/トランスミッター）	本機の状態
消灯	スタンバイ。iPhoneまたはiPodが未接続。
一度だけ緑点滅	音量調節中。
緑点滅	iPhoneまたはiPodの接続を確認中。
緑点灯	パワーオン。iPhoneまたはiPodの接続完了。
緑点灯と赤点滅	2秒間だけ赤点滅：対応iPod以外のiPodが接続された状態。 赤点滅が継続：認証失敗の状態。（接続しなおしてください。）
赤点滅	なんらかのエラーが検出され保護回路が作動している状態。 （いったんACアダプターのプラグを抜き、しばらくしてから再度差し込んでください。）
一度だけ赤点滅	音量が最大か最小です。
赤点滅（緑の状態に関係なく）	iPhoneまたはiPodのバッテリー不足。

DC IN 15V端子[ⓗ]

ACアダプター（本体用）を差し込みます。ACアダプターを差し込むと、微弱ながら電気が流れ、スタンバイの状態になります。スタンバイの状態でiPhoneまたはiPodをトランスミッター（PDX-50TX）に接続すると、パワーオンの状態になります。接続を外すと、スタンバイ状態に戻ります。

トランスミッター（PDX-50TX）[ⓒ]

iPhoneまたはiPodを接続します。接続を外すとスタンバイの状態になります。iPhoneまたはiPodはいつでも接続したり外したりすることができます。

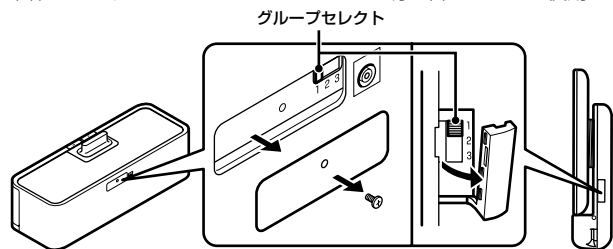
充電器（PDX-50BC）[ⓓ]

iPhoneまたはiPodのバッテリーを充電します。

DC IN 5V端子[ⓙ]

ACアダプター（充電器用）を差し込みます。

グループセレクト

本体およびトランスミッターのグループを切り替えるときに使用します。

グループセレクト

トラブルシューティング

下記以外の症状が起きた場合は、AC アダプターを外してお買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響サービス拠点にお問い合わせください。

症状	原因	対処
音が出ない。	他の機器に接続されている。	グループセレクトを変えて、他のグループを選択してください。
	グループセレクトが合っていないため接続していない。	グループセレクトを合わせてください。
	距離が離れすぎている。	トランスミッターとスピーカーの距離を近づけてください。
	周囲に2.4 GHz帯の電波を出すもの(電子レンジ等)がある。	それらの機器から遠ざけて配置してください。
	iPhoneまたはiPodがトランスミッターにしっかり接続されていない。	もう一度しっかり接続しなおしてください。
	iPhoneまたはiPodのファームウェアが最新バージョンになっていない。	アップル社のウェブサイトから最新のiTunesソフトウェアをダウンロードし、iPhoneまたはiPodのファームウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。
	トランスミッターからの電波が金属や人体で遮られている。	トランスミッターからの電波が金属や人体で遮られないように、 持ち方や持つ位置、置き方や置く位置を変えてください。
	スピーカー本体の電源が入っていない。	ACアダプターを正しく接続しなおしてください。
	iPhoneまたはiPodのバッテリー残量が少ない。	iPhoneまたはiPodを充電してください。
	音量が最小になっている。	スピーカー本体の音量を調節してください。
	iPhoneまたはiPodとスピーカー本体が接続中です。	接続が完了するまで少々お待ちください。
	音量が大きすぎて保護回路が働いた。	音量を下げてください。
iPhoneまたはiPodの音量を調節しても音量が調節できない。	本機が対応していないiPhoneまたはiPodが接続された、またはトランスミッターにしっかり接続されていない。	本機が対応しているiPhoneまたはiPodをお使いになるか、しっかり接続しなおしてください。
iPhoneまたはiPodをトランスミッターから外してもスピーカーの電源が切れない。	他の機器に接続されている。	他のグループを選択してください。
iPhoneまたはiPodを接続していないのに、突然音が出た。		

主な仕様

対応iPod......iPod（第5世代）、iPod classic、iPod nano、iPod touch
対応iPhone......iPhone、iPhone 3G
実用最大出力（6 Ω 1 kHz、10 % THD）......15 W + 15 W
電源電圧/周波数......AC 100 V、50/60 Hz
消費電力
　PDX-50......10 W
　PDX-50TX/PDX-50BC......4 W
iPod/iPhone未接続時の消費電力
　PDX-50......1 W 以下
　PDX-50TX/PDX-50BC......1 W 以下
通信可能距離......約20 m（妨害のないとき）
最長再生時間......約10時間（iPodがフル充電の状態から）
同時接続スピーカー数......最大7台（場所や状況により異なります）
外形寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)......350 x 125 x 127.5 mm
質量（本体のみ）......1.7 kg

本機は、第4世代以前のiPod、Dockコネクターのないipod、iPod photo、iPod miniには対応していません。

※仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お手入れのしかた

キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。汚れがひどいときは、水を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

本機の無線方式について

「2.4」　2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「XX」　変調方式はその他の方式
「4」　想定干渉距離が40 m 以内
■■■　全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ
お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。
http://www.yamaha.co.jp/audio/

■ AVお客様ご相談センター
ナビダイヤル(全国共通) 0570-01-1808
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受 付 日：月～土曜日（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）
受付時間：月～金曜日 10:00～18:00　土曜日 10:00～17:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター
ナビダイヤル(全国共通) 0570-01-2808
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-4830
FAX（053）463-1127

受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00　土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口
受 付 日：月～金曜日（祝日および弊社の休業日を除く）
受付時間：9:00～17:45

北海道　〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 FAX (011)512-6109
首都圏　〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F FAX (03)5762-2125
浜松　〒435-0016 浜松市東区和田町200 ヤマハ(株)和田工場内 FAX (053)462-9244
名古屋　〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F FAX (052)652-0043
大阪　〒564-0052 吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F FAX (06)6330-5535
九州　〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4 FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● **保証期間**
お買い上げ日から1年間です。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**
技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!

こんな症状はありませんか?
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。
事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

Printed in China WQ92770

h

f

g

i

PRINTED WITH SOY INK

YAMAHA CORPORATION